

令和7年竹田市教育委員会第3回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年3月5日（水）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	岡 茂樹
3 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
4 番委員	進 みづほ
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員	教育総務課課長補佐 古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第2回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
 - 議題第5～6号 他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて（2件）
 - 議題第7号 竹田市教育長の職務代理者の指名について
 - 議題第8号 県費負担教職員の人事異動の内申について
 - 議題第9号 竹田市教育委員会公印規則の一部改正について
 - 議題第10号 竹田市小中学校文書取扱規程の一部改正について
 - 議題第11号 竹田市スクールバス運行管理規程の一部改正について
 - 議題第12号 竹田市招致外国青年任用規則の一部改正について
 - 議題第13号 竹田市学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について
 - 議題第14号 竹田市指定天然記念物の指定解除について
 - 議題第15号 竹田市指定有形文化財の指定について
 - 議題第16号 竹田市指定有形文化財の指定について
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (7) 連絡事項
 - (1) 3月幼・小・中行事予定表
 - (2) 3月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から

(9) 教育委員からの提案・意見

7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 00 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから令和 7 年第 3 回定例会を開会します。第 2 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	前回の教育委員会第 2 回定例会以降の報告をいたします。2 月 6 日、竹田市中体連協議。7 日、第 2 回岡の里名水マラソン大会実行委員会。10 日、令和 6 年度荻地域人権啓発推進講演会、及び第 1 回竹田市長期総合教育計画審議会。12 日、竹田教育研究会全体会。13 日、特別支援ネットワーク会議。14 日、チャリティーショー第 2 回実行委員会、及び声楽コンクール実行委員会。15 日、たけたん自學舎、及び中九州横断道路女性の会講演会。18 日、第 12 回校長・所長会議、及び子ども読書活動推進計画第 2 回策定会議。19 日、令和 6 年度第 2 回竹田市地方創生推進会議・アドバイザー合同会議。21 日、第 35 回全九州中学生選抜女子ソフトボール大会監督会議。24 日、菅生小学校閉校記念式典。26 日、議会第 1 回定例会。27 日、定例課長会議、及び文化財保護調査委員会。28 日、サフラン 3 年生を送る会、及び竹田市安全衛生推進委員会。3 月 1 日、久住高原農業高校卒業式。2 日、第 36 回岡の里名水マラソン大会。3 日から 4 日にかけて竹田市議会第 1 回定例会一般質問。そして本日 5 日、教育委員会第 3 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは次に移ります。本日の、審議案件は 12 件です。初めに、議題第 5～6 号「他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて」です。生涯学習課長、説明をお願いします。
藤島生涯学習課長	はい。本来でありましたら 3 月議会前に皆さんにお諮りするところですが、準備が遅れまして、今日になりましたことをまずお詫びを申し上げたいと思います。議題第 5 号「他の普通公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて」です。この趣旨については、地方自治法第 244 条の 3 第 2 項の規定に基づきまして、普通地方公共団体は、他の普通地方公共団体との協議により、当該他の普通地方公共団体

	の公の施設を自己の住民の利用に供させることができるに基づき、由布市が管理する公共施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を、市長に申し出るものであります。内容については、3 ページに記載しています由布市が管理する 8 か所の公共施設であります。これは、大分都市広域圏に関係する 7 市 1 町がそれぞれの施設を相互に利用できるようにするという取り組みのひとつです。 なお、議題第 6 号につきましても同趣旨で、日出町が管理する公の施設を竹田市の住民の利用に供させることを市長に申し出るものです。内容については、5 ページに記載しています日出町が管理する公共施設 4 か所であります。以上です。
志賀教育長	では、ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 5 号、6 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 7 号「竹田市教育長の職務代理者の指名について」です。教育総務課長説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議題第 7 号、竹田市教育長の職務代理者の指名についてでございます。教育長職務代理者の職務につきましては、これまでの申し合わせによりまして、任期を 1 年間として教育委員で持ち回りとするようになっております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定に基づき、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの期間を、進みづほ委員にお願いしたいと提案するものであります。どうぞよろしくお願いいたします。
志賀教育長	説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 7 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 8 号「県費負担教職員の人事異動の内申について」です。本議題は、県費負担教職員の人事異動に関することなので、非公開の審議としたいと思っておりますがよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、竹田市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項の規定により非公開とします。なお、進行の都合上すべての協議が終了してから審議を行いますのでよろしくをお願いします。 次に議題第 9 号「竹田市教育委員会公印規則の一部改正について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議題第 9 号「竹田市教育委員会公印規則の一部改正について」の提案理由をご説明いたします。この案は、菅生小学校の閉校に伴って、小学校公印の数量が減少するため、第 2 条の表 28 の項から 30 の項までの規定中「11」を

	「10」に改めるものであります。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 では、議題第9号を承認してよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第10号「竹田市小中学校文書取扱規程の一部改正について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議題第10号「竹田市小中学校文書取扱規程の一部改正について」です。この案も、今回、菅生小の閉校に伴う改正です。小中学校文書取扱規程の別表から閉校となる菅生小学校の記述を削除するものであります。以上です。
志賀教育長	質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第10号、承認してよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第11号「竹田市スクールバス運行管理規程の一部改正について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議題第11号「竹田市スクールバス運行管理規程の一部改正について」です。この案も、菅生小学校に関するものですが、閉校となる菅生小学校が令和7年4月1日から南部小学校へ統合されることに伴い、別表で、スクールバス運行学校の竹田小学校の次に、新たに南部小学校の欄を設け、児童及び生徒の区域に、「ア 菅生小学校の全地区」という記述を追加するものであります。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第11号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第12号「竹田市招致外国青年任用規則の一部改正について」です。学校教育課長、説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	はい。議題第12号「竹田市招致外国青年任用規則の一部改正について」、この規則は、ALTの報酬に関する規則です。竹田市招致外国青年任用規則第7条1項に、ALTの月の報酬と年間の報酬が記載されております。初年度を336万円から402万円に、再任用された2年目は360万円から414万円に、3年目は390万円から426万円に、特に優れていて、再度、再々再任用された場合の、4年目及び5年目は、396万円から432万円に改めます。この改正の理由として、令和7年1月6日付で総務省、外務省、文部科学省の三省による通知、「令和7年度JETプログラムの運用改善について」に基づき、所要の改正を行うものです。

志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 12 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 13 号「竹田市学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について」です。給食調理場長、説明をお願いします。
甲斐給食調理場長	はい。議題第 13 号竹田市学校給食費徴収条例施行規則の一部改正につきまして、資料の 13 ページをご覧ください。 竹田市学校給食費徴収条例の一部改正に伴い、条例に規定されていた徴収方法及び納期について、内容的には従来どおりのものを本施行規則に規定し、文言の整理を行うものです。口座振替による徴収は、運用上、実施していましたので、追記します。中学 3 年生卒業時の給食費の取扱いについても、3 月は徴収せず 11 期までの取扱いとしていましたので従来どおりとします。牛乳アレルギーにかかる牛乳代相当額の減額については、児童生徒に限定としています。市立幼稚園の主食費及び副食費の規定についても従来どおりとなっています。以上で提案理由の説明を終了いたします。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 13 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 14 号「竹田市指定天然記念物の指定解除について」です。まちづくり文化財課長、説明をお願いします。
佐藤まちづくり文化財課長	はい。議題第 14 号「竹田市指定天然記念物の指定解除について」でございます。この案につきましては、竹田市文化財保護調査委員会から答申のありました「上野のタブノキ」につきまして、竹田市指定文化財の指定解除を行うために提案するものでございます。この「上野のタブノキ」は、平成 2 年 11 月 21 日に指定された天然記念物です。指定から 35 年にわたり代々受け継がれてきましたが、近年は枯れるなどした枝葉が住宅や倉庫に落下して屋根を損傷する被害が増加して所有者を悩ませています。また、台風等による倒木の恐れについても不安を抱いており、タブノキの伐採を強く希望して指定解除の要望に至りました。また、2 月 27 日の文化財保護調査委員会で指定解除の答申があったものです。以上、提案でございます。
志賀教育長	ただいまの説明に、質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 14 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 15 号「竹田市指定有形文化財の指定について」です。まちづくり文化財課長、説明をお願いします。

佐藤まちづくり文化財課長	はい。議題第 15 号「竹田市指定有形文化財の指定について」でございます。竹田市文化財保護調査委員会から答申のありました、「鈴木毅一旧蔵瀧廉太郎関係資料」46 点について、竹田市指定有形文化財の指定を行うための提案をするものでございます。詳しい内容につきましては、所在地であります竹田市歴史文化館長の方からお願いいたします。
佐藤歴史文化館長	歴史文化館から、文化財の内容について報告させていただきます。少年時代を竹田市で過ごし、後に日本の近代音楽の扉を開いた音楽家瀧廉太郎。その瀧廉太郎が東京音楽学校時代に出会って無二の親友となったのが鈴木毅一です。この鈴木毅一が瀧廉太郎の遺作となった「憾」の手稿譜をはじめ、写譜やドイツ留学に関係した資料類を、廉太郎から託されて所蔵していました。その鈴木毅一旧蔵の資料類が 2019 年に竹田市に寄贈されております。この鈴木毅一旧蔵瀧廉太郎関係資料は、廉太郎に関する資料として質量ともに充実したものでありますし、加えて日本の近代音楽史研究における学術的価値も高く、竹田市において市指定有形文化財として保存活用する意味は大きいと考えております。よろしくをお願いいたします。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 15 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 16 号「竹田市指定有形文化財の指定について」です。まちづくり文化財課長、説明をお願いします。
佐藤まちづくり文化財課長	はい。続きまして、議題第 16 号、同じく「竹田市指定有形文化財の指定について」でございます。この議題につきましても、竹田市文化財保護調査委員会から指定の答申があった「渡邊家旧蔵渡邊長男作品群」91 点について、竹田市指定有形文化財の指定を行うための提案をするものでございます。詳しい内容につきましては、竹田市歴史文化館長の方からお願いいたします。
佐藤歴史文化館長	渡邊家旧蔵渡邊長男作品群について説明させていただきます。明治から昭和初期の彫塑の権威であった渡邊長男。その作品は、日本橋の欄干の「麒麟像」や「獅子像」をはじめ、竹田市内にも「子育観音像」や「広瀬中佐像」等多くあるわけですが、この作品群は、渡邊長男が自宅に保存しており渡邊家に遺されていたブロンズや石膏等の作品群になります。昨年、竹田市に寄贈されました。この作品群には、「老嫗」という 1901 年の作品がありますが、これまで当時の図録でしか見ることができなかった作品等も、今回発見され寄贈された中に含まれております。モデルとしてポーズをとっているというわけではなくて、生活の一コマを切り取ったような自然でリラックスしたような姿となっております。渡邊長男の数少ない初期作品でもあり、当時の自然主義的な表現を見ることができる貴重な作品です。これらの作品群は、渡邊長男に関する資料として、出所も含めて、質量ともに充実したもので、彫塑に新しい境地を切り開いていた渡邊長男の研究における基礎資料であるとともに、日本の近代彫塑史の流れを見ることができる学術的価値も高い作品群で、竹田市において市指定有形文化財として保存活用する意味は大きいものと考えております。よろしくお願

	いいいたします。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 16 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に移ります。報告事項はありません。また、協議事項もありませんので、連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。連絡事項(1)、3月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。3月3日、城原小の起震車体験。4日、南部小・都野小・南部幼稚園のお別れ遠足、及び直入小の地震避難訓練・地震体験車。5日、竹田小3・4年のユレルンダー体験、菅生小の防災学習・地震体験、及び荻小のお別れ遠足。6日、直入小のお別れ遠足、及び竹田幼稚園の岡藩雛祭り流しびな参加。7日、中学校卒業式、及び久住小のお別れ遠足。10日、竹田中2年生の着物着付け教室。11日、荻小の地震・火災避難訓練、及び翌日12日にかけての県立高校一次入試。13日、豊岡小のオーケストラコンサート。14日、県立高校一次合格発表。19日、幼稚園卒園式及び県立高校二次入試。21日、県立高校二次合格発表。24日、小学校卒業式。26日、小中学校修了式。28日、先生方の離任式。 続いて、次のページ、3ページをご覧ください。3月の教育委員会関係日程(予定)表でございます。本日、3月5日、教育委員会第3回定例会。6日、久住高原農業高校の令和6年度第3回学校運営協議会。7日、中学校卒業式。8日、令和6年度竹田市生涯学習まつり及び竹田市民教養大学閉講式。10日、議会本会議・予算特別委員会、及び第3回竹田市表彰委員会。11日、議会予算特別委員会。13日、声楽コンクール運営諮問委員会。17日、「竹田市子ども読書活動推進計画」第3回策定委員会。18日、議会定例会閉会、及び臨時校長・所長会議。19日、幼稚園卒園式、令和6年度第2回竹田市社会教育委員会並びに竹田市公民館運営審議会、及び教育委員会第1回臨時会。21日、定例課長会議、及び竹田市健康づくり推進協議会。24日、小学校卒業式。26日、小中学校修了式、及び竹田高校の未来を輝かせる会令和6年度第1回会議。28日、県費負担教職員退職者辞令交付式。31日、退職者辞令交付式。4月1日、第1回校長・所長会議。2日、新採用者辞令交付式。4日、教育委員会第4回定例会。 1ページに戻っていただきまして、(3)の今後の主な予定でございます。①教育委員会第1回臨時会を3月19日(水)16時30分から、教育長室にて非公開での開催を予定しております。②第4回定例会は、4月4日(金)15時から、本庁議室にて開催予定です。③第5回定例会は、5月7日(水)15時から、同じく本庁議室にて開催予定です。連絡事項につきましては以上でございます。
志賀教育長	質疑等はありませんか。 連絡事項についてはよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

羽田野教育総務課
長

はい。教育総務課からは二点お知らせします。まず、一点目は10日に行われました第1回竹田市長期総合教育計画審議会についてでございます。学識経験者、これは校長経験者2名と教育委員経験者1名の計3名、市議会議員2名のうち1名は欠席、教育機関の長として小中学校校長各1名、教育関係団体役員として教職員労働組合の委員長、PTA連合会会長、副会長2名、竹田市長事務局として総務課長の計11名と教育委員会の事務局として教育長、教育総務課から私と古澤補佐が出席しました。委員への委嘱状の交付、趣旨説明、会長・副会長の選出の後、審議に入り、審議内容としては①アンケート内容の検討、②前回の諮問、答申、長期総合教育計画について、③今後のスケジュールの三点について、皆さんに審議していただきました。まず、アンケートについては前回統合対象の学校のみで行ったアンケートを、未就学児も含む全保護者を対象に行うこと、時期としては4月を予定していること、アンケートの内容については前回のものを参考にしたこと、二次元コードによる回答方法について検討頂きました。委員の中には3月いっぱいの任期の方が複数おられますが、3月いっぱいの任期だと言いながらもたくさんのご意見を出してくださり、本当に活発な審議が行われました。その中で「アンケートを実施するに当たっては統合、存続などの言葉の意味が正確に伝わらなければならないため、説明が必要」「いきなりアンケートを行うと『統合ありきか』と勘違いするかもしれない」「アンケートを依頼するに当たっては計画のためのものだという鑑文が重要になる」「小学校と中学校に対しては同じ保護者でも考え方がちがうのでは」など貴重な意見をいただきましたので、アンケートの対象者は小学校、中学校それぞれの長子について回答することを分かり易くし、鑑文及び裏面の説明を加えた改良版を後日全委員に送付し、再度検討いただきました。本日の資料の最後に添付してありますので、皆さんもご確認いただき、お気づきの点があればお知らせください。また、前回の諮問、答申、現行の長期総合教育計画も配付し、前回答申に対する検証は各課から上がっておりますので、年度内に教育委員会部局課長を含む事務局において完成させ、教育委員会においても報告いたします。それに基づく次期計画の諮問についても並行して作成し、次回の審議会において諮問するという流れについて説明いたしました。ただ、今回は市議選が行われる年で、新しい議員による委員会や各種委員の選出ができ次第になるため、次回は6月議会終了後になりそうだと伝えました。それまでに事務局でアンケートの回収、諮問の作成を行っていきます。また、今後のスケジュールについて次回は7月1日を予定していること、1回目の答申案については11月に出していただきたいこと、並行して計画案も事務局で進めていき、総合教育会議において答申の報告、パブリックコメント、定例会での承認を経て公表となるというスケジュール案も確認していただきました。審議会の内容については教育委員会定例会でも逐一報告させていただきます。

二点目は菅生小学校の閉校についてです。閉校記念式への参加ありがとうございました。一面の雪にもかかわらずたくさんの地区の方、卒業生、歴代の教職員の皆様など200名に及ぶ参加者のもと晴れやかに行われました。議題にもありましたように閉校に伴う事務的な手続きについてはこちらで行ってまいります。8日の土曜日には2月に予定していた雪のため延期となったスクールバス試乗会が開催されます。竹田南部中学校生徒も含む27名が2台のバス2コースで中学生はそのまま部活動、小学生は折り返しの試乗を行います。4月からの統合に向けて準備を進めてまいります。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課からは三点です。一点目は、竹田市の各公共施設における Wi-Fi 環境についてです。竹田市の公共の施設で一度ログインすれば、全ての公共施設でいつでも Wi-Fi の使用が可能となりました。子どもたちが各支所、公民館等でのタブレットを使つての学習が可能となりますので、グランツの高校生のように各支所や公民館で、小中学生が学習している姿を見られるようになることを期待しています。

二点目は、3 年間の「竹田市架け橋プログラム」推進事業の取組を報告書として、まとめました。本日、教育委員さん方に 1 冊ずつお配りしていますので、ご覧いただき、竹田市幼児教育施設や小学校へ訪問した際に、それぞれの教育内容や活動を参観する際の参考にいただければと思います。次の 3 年間は、さらに竹田市全体の取組みを拡充するため、竹田小学校・竹田幼稚園をモデルに指定し、継続してまいります。

三点目です。学校教育課が推進しています交流授業についての報告です。各学校が近隣校、また中学校区で交流授業を行っています。中でも、極小規模校は数校で、今年度下半期も交流授業を積極的に行っています。国語や英語等、考えや気持ちを交流する場面、また表現活動の場面での取り組みが多くなっています。小学校間でのオンライン交流授業に加え、海外とつないで授業をおこなっている例もあります。こちらも、機会があればご参観いただければと思います。子どもたちのいつも以上にきらきらした表情を見ることができます。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

藤島生涯学習課長。

藤島生涯学習課長

はい。生涯学習課からは二点お知らせします。一点目は、3 月 2 日に開催されました、岡の里名水マラソン大会です。大会へのご臨席有難うございました。当日は約 980 名の方に参加していただきました。天候は回復しましたが、気温が高く数名の方が熱中症になりましたが、特に支障もなく回復したと聞いています。参加者には喜ばれる大会になったのではないかと感じています。反省点等を改良しながら来年に向かって準備を始めていきたいと思っています。

二点目として、これまでもお知らせしていますが、3 月 8 日（土）13 時から生涯学習まつりをグランツたけたで開催しますので是非ご覧いただきたいと思います。生涯学習課からは以上です。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長。

佐藤まちづくり文化財課長

はい。まちづくり文化財課からです。

まず、先程承認いただいた「鈴木穀一旧蔵瀧廉太郎関係資料」46 点、「渡邊家旧蔵渡邊長男作品群」91 点の竹田市指定有形文化財（美術工芸品）の指定につきましては、本日付けでプレスリリースいたしますのでご報告いたします。

続いて、国指定史跡岡城跡の整備状況です。春の行楽シーズンに向けまして、古大手門南側の伐採作業についてはほぼ完了しております。また、坂道の木製階段から下の部分につきまして引き続き舗装を施工中であります。昨年竹田市教育委員会第 11 回定例会で提案し、12 月議会で議決いただいた、西中仕切跡石

	垣の災害復旧工事につきましては、今年 2 月に国の交付決定を受けて 3 月に入札、契約をして、令和 7 年度に施工予定となっております。 続いて、岡城跡の入場者数です。令和 7 年 2 月末で、約 4 万 4 千人です。3 月の桜の開花時期や天候でかなり左右されますけど年度計で 5 万 2 千人くらいかなと思います。引き続き入場者数増加に向けまして、また、岡城跡の環境整備や御城印などの取り組み、公式ホームページ、インスタグラムでの発信等を通じて、取り組んでいきたいと思っています。以上です。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館から企画展の紹介をさせていただきます。お手元に「のほほん日和」なかむら葉子作品展のガイドブックを配らせていただきました。今週の土曜日、3 月 8 日からゴールデンウィーク明けの 5 月 6 日までが開催期間となっております。歴史文化館の特別展示室ちくでん館と市民ギャラリーと 2 つの会場を使って展示をしております。なかむら葉子さんは、イラストレーターで大分市にお住まいですけど、竹田市のいろいろなガイドブックやパンフレットに挿し絵等を描かれたり、表紙になる作品を描いたりもしております。また、最近では、中学校の英語の教科書の表紙や、高校の国語の教科書の表紙を描いたり、NHKの外国語講座のラジオテキストの表紙を一年間描いたりしております。いろいろなところで作品を目にしているんですけど、名前を見る機会がないので、会場でいろいろな雑誌をはじめとして掲載した作品の原画を見ていただくと、見たことがあるなという作品にたくさん出会うと思います。お手元のガイドブックに掲載している作品は、今回の特別展用に作成した作品が中心です。どうしても写真になると平板に見えてしまうんですが、布に実際に絵を描いたり刺繍をしたりした作品等もあります。図録で見た感じと、実際の作品を見るとやわらかさ、温かみに大きな違いが感じられます。実際の作品をご覧いただければと思っております。会場は 2 つなんですが、入場料は、旧竹田荘と合わせていつもの金額です。今年度最後の企画展になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	はい。学校給食調理場からは一点連絡いたします。 不登校支援のための竹田市教育支援センター「サフラン」へ学校給食を配送車にて配送できるよう準備しています。本年度、学校教育課や給食調理配送業務の受託先の竹田市わかば公社とともに「サフラン」で現地調査を行い、検討してきました。令和 5 年 7 月から、「サフラン」の職員が調理場と「サフラン」までの給食の運搬をお願いしていました。県下でも不登校支援の教育支援センターへの学校給食の配送は、あまり例がなく、教育支援センター充実のための先進的な事例となると思われます。給食によって児童生徒の心身の健全な発達や少しでも不登校に悩む保護者負担の軽減に資することができるよう教育委員会部局として知恵を絞り、今後も教育環境の充実に務めてまいります。以上です。
志賀教育長	では、図書館について羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課	はい。図書館からは、2 月 18 日に行われました竹田市子ども読書活動推進計画

長	第 2 回策定委員会について報告します。事務局を含む 13 名の構成員のうち 11 名の参加によって開催され、計画の素案について審議いたしました。2 学期に行ったアンケート結果に基づき、現計画の成果と課題、目標と基本方針、推進のための取組について説明があり、子どもの活字離れが顕著であったこと、早い段階での読書週間が肝心なため、目標を「ストップ！読書離れ。～竹田っ子 0 歳からはぐくむ読書習慣～」とし、実現可能な目標値の見直しや、あらゆる場面での読書活動への働きかけの取り組みなどについて議論がなされました。出されたご意見を踏まえて見直しを行い、今月の 17 日開催の第 3 回策定委員会に置いて承認され、4 月に公表される予定です。図書館からは以上です。
志賀教育長	それでは、ご意見、質問等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは最後に教育委員の皆様からご意見、感想等があればいただきたいと思います。吉野委員からお願いします。
吉野委員	はい。2 月 21 日だったかと思いますが、「直入の教育を考える会」学校運営協議会などに参加させていただきました。昨年度から課題というか教頭先生が主に中心になって、地域の人材、学校の教育にいろいろと知恵をかせてくれたり評価してくださったりする方を、先生方が異動された後でも、継続して連絡がとれるようにということでリスト化していただいたものが形になったので、今後益々中身を充実させていけるように、大事に活用させていただきたいというふうに思いました。 もう 1 つは、先日小学校で、教育実習の大学生が、児童とお別れをしている場面に出会いました。子どもたちに囲まれて、とてもいい表情でした。小学校時代から知っている学生さんだったこともあって、とてもぴったりくる職業を選んでくれたなど、ぜひ先生になって欲しいなというふうに感じたところです。小学校の先生方も、実習態度が非常によくて期待できる。職員の方も気が引き締まったというふうなお話をしてくださってとてもうれしかったです。その時に思い出したんですけど、別の学生さんで、教職につくことを強く希望してたけれど、教育実習をきっかけに、少しマイナスの方に、希望がしぼんでしまっていて、結果的に教職ではない道についた方がいるというのも聞いています。この子の分かれ道は何かなというふうなことを個人的に考えました。自身の経験も少しあるんですが、教育実習の時に、母校に行ったかどうか、教育実習に限らず、母校に訪問する機会とか授業をする機会とか、恩師や多少なりとも見知った先生に、助言をもらえるような機会とか、特別身近に感じる小さな子どもたちの出会いがあったかどうかというのは、もしかしたら分かれ道になったかもしれないなというふうに想像してしまいました。大学附属の学校で実習をすることにもまた別のよさというかすばらしさというかそこじゃないと学べないこともあるかと思うんですが、母校と、幼い頃ゆかりがないというか大学の関連で行く先の実習先というのはやっぱり学べるニュアンスというか景色というか感じ方というところが微妙に違ってくるのかなというふうに思います。その両方が経験できるのも素晴らしいかなと思います。だからもし、附属の学校にしか行く機会がない学生さんが、地元というか母校とか地域のゆかりのある学校に接点を持てるような機会が、何か持てないかなというふうなことを考えたと

ころです。私なんかはその放課後子ども教室の関係で夏休みなんかは、大学生が手伝ってくれるととても助かるんですが、ただ不定期なので、応募がなかなか難しいし、学校教育課の方でも高校生や大学生のボランティアを求めるけども、マッチングできない時とかあるんじゃないかなと思います。もし長い目で見て、この時期に何人ぐらいこういう子が来てくれたら、こういう活動ができますよというようなご案内が、紙なり、ネットなりでできれば、何かこう、窓口が1つできるとわかりやすいのかなというふうに思いました。社協の方は、ボランティアを募る冊子があるんです。毎年、中高生なんかは、高齢者の福祉施設行ったりとか保育所に行ったりとか、そういう案内があると思うんですけど、そういうのも参考になったらいいかなというふうに、ちょっと考えたところです。以上です。

志賀教育長

では、岡委員お願いします。

岡委員

はい。私の方から提案と感想を一点ずつさせていただきたいと思います。一点目は統合後の検証について提案です。竹田中学校は、今年度の卒業式をもって、統合の前と後を経験した世代がいなくなり、来年度から今の体制が当たり前の生徒ばかりになります。実際、竹田中自体はすでに統合というテーマから離れて、次のステージに進んでると思うんですけど、統合して2年が経ち、ビフォーとアフターを経験した生徒や保護者の方、教職員の皆さんの意見を聞く機会はこの時期を逃すともうないのかなという感じがしています。明後日卒業式ですので、遅い感もないではないですし、年度末で多忙な時期でもあるので、難しいかもしれませんが、もし可能であれば、すぐーなんかのアプリを利用したアンケートとか、何らかの形で声を拾うことは価値があると感じています。先ほど長期総合教育計画策定に向けたアンケートの実施が提案されたいに、統廃合のテーマは今も現在進行形ですので、実際に統廃合経験者から、1年ではなく2年間という年月を経たからこそわかる良さとか、改善すべき点とかより深みのある視点で意見が聞けるとありがたいと思います。要望として、ご検討いただければと思っています。それから、統合後2年が経ったことで、例えば学外の運営面について見直しも少し必要かなと感じたことがあります。例えばスクールバスの運行に関して言うと顔認証システムです。その有効性とか必要性について実際何かあってはいけないという意識できちんと、運営されているとか、コストに見合った取り組みなのかなど、2年経つと慣れも出てくるので、少し厳しい見立てもいるような気がしております。それともう1つは、感想として今月の市報に出ていた路線バスの運賃改定についてです。私も以前からバス通学の金銭的な補助ができないかなと考えていました。今回の改定で非常に住民に寄り添ってくれた大変経済的配慮のあるものだと感じています。現在大野竹田バスが発売している、地元フリー定期券、「ジモテキ」と言うらしいんですけどその使用範囲が拡大されて、中学生、高校生、大学生など学生については月7,000円で市を跨いで乗り放題という非常にありがたい仕組みということで、市内のみならず豊後大野市から竹田市内の高校へ通学するハードルも下がる可能性もありますし、その逆もあるということで、JRなんかとうまく絡めて大いに活用されるといいかなと期待をしています。実際今年の竹田高校の志願者数の少なさが非常に気になりますが、今回の改定みたいに学外の環境整備というの、市内の高校を活性化させる大切な要素だなと思いましたし、竹田市で子育てをする世代の支援に繋がることだなあ感じた

次第です。以上です。

志賀教育長

甲高委員をお願いします。

甲高委員

はい。私からは主に感想と竹田高校のお話が岡委員からも出ましたが、先日、竹田高校の保護者の方とお話することがありました。竹田高校の今の志願者数を見たときに、やはり魅力のある学校づくりも必要なんじゃないかとかいうような意見も出ましたし、単純に児童数生徒数の減少による定員割れを起こしているというようなことも、いろいろお話をさせていただきました。30分ぐらい2人でずっとああじゃねえ、こうじゃねえと、竹田高校の魅力発信のために、多くの方が志願していただけるように、これからしていかないといけないんじゃないのかなあということで、教育委員会としても、そういう方向性を持って、竹田高校志願者数増に向けて、頑張っていかなきゃいけないのかなといういろいろ検討していかなくちゃいけないのかなというような話をさせていただきました。これはもう個人的な話なんですけど、実際全体に言えることなのかなあと思います。竹田高校を志願しなくなったり、もしなくなったり、竹田高校が閉校とか、なかなかないかもしれないんですが、そういう意味でも非常に大事なこれからの課題になってくるのかなあというふうに思いました。

あと、菅生小学校閉校式についてということで、堀校長が言った「菅生小学校の卒業式です」というのが、すごく私の心に残りました。今まで、地域の子どもたちを支えてきた小学校が3月31日をもって閉校すると、支えてくれてありがとうと、そういう意味での卒業式ということで、すごく印象に残った日でした。地域の皆さんが、昔の写真を見ながら、ここ誰がおるとかいったのがすごく印象に残って、その中でただ、皆さんが言ってたのは、心の中には、学校は生き続けると言っていたいたのが、本当にありがたかったかなと思っています。

あと、スポーツ関係で2つあります。名水マラソンについて先ほど課長からもありましたが、私たち団体もコース清掃とかさせていただきました。その日に他の地区でもコース清掃されているということで、私たちの団体の方からも、実際コース清掃をやってみて、車で1回通って下見をしてるんですが、車では全然気がつかないんですが、実際歩くとすごくゴミがあつて、意外とやってよかったなあというのが、まず印象に残りました。結局、名水マラソンもそうですがいろんな団体のボランティアに支えられながら、市の職員の力を借りながら、みんなで作り上げている本当にほんわかした大会だなあと思いました。これからも続けていって、また、今年200人近く参加者が増えてるんですけど、もっともっと多くの方に利用してもらおうとか、参加していただくといい大会になるのかな、更にいい大会になるのかなと思いながら、地域の方と一緒に支えながら、この大会が続いていけばいいなというふうに思いました。

もう1つは、2月23日に大分県都市対抗駅伝というのが実施されました。竹田市チーム6位入賞ということで見事に入賞しました。この中で、中学生男女1名ずつと小学生男女1名ずつが走っていただきまして、6位入賞に大きく貢献をしていただいておりますことを報告して、また感謝をいたしたいと思います。以上です。

志賀教育長

進委員、お願いします。

進委員

はい。私も「荻の教育を考える会」学校運営協議会に参加してきました。今、荻

の運営協議会では、こども園、小学校、中学校を 15 年かけて、荻の子どもたちを支援、サポートしていこうということで、グループワークで目標設定とかをしているところです。その中で、荻町は本当に地域のサポートが厚いという話が出て、このことに対して、子どもたちも地域に恩返しをしていった方がいいのではないかと話が出て、何なのかというところを話し合って、行事への参加、先程、甲高委員からも出ましたがボランティアとかを、小中学生時代からやっていけたらいいのかなあという話が出て、荻の滝の清掃だったり、駅の清掃だったりとかいうのを中学生がしています。そういう感じでボランティア活動を子どもたちにもっと進めていけたらいいなという話が出ました。

そして、皆さんからも出ましたが、竹田高校の志願者数の件です。本当びっくりしたというところが本音なんですけど、先般卒業式に参加しました。卒業生がクラスで、一言お話をするのを聞いたんですが、通って学んだ子はみんな竹田高校に来てよかった。今のこの仲間に会えて充実した 3 年間がおくれたということを書いていました。なので、魅力の伝え方、感じ方、中学生にとって魅力を感じる機会がもっとあればいいのかなあというのを感じています。入ってみてからわかることもたくさんあるとは思いますが、それを伝えていくという形をもっとつくれたらいいのかなあというふうに思いました。竹田高校生が、大名行列に参加したりだとか、先般のオペラにも美術部の方が参加したりとかして、地域にも結構出向いているので、そういう姿を伝えられたらいいのかなあというふうにも思いました。他にも久住高原農業高校の発表をケーブルで聞いたときに、すごいなあと思って見入ってしまいました。稲葉学園もなでしこリーグの選手が誕生とか、もう地域の学校に魅力がいっぱいなので、それを何とかこう今の小中学生に伝えていけたら、この志願者数はもう少しは上がるかなあというところで、竹田高校がなくなってしまうたら、竹田市もちょっと寂しくなると思うので、竹田高校さんの頑張りも必要なんですけど、何とかここで策を練っていけたらいいのかなというふうに思っています。

すみません。もう 1 つ、渡邊長男さんの作品展を見たときに、すごく何かわからないなりに感動したんですが、文化財になって普段は見られるんですか。見られないんですか。どんな感じで保存していくのかなというのが聞きたいです。以上です。

志賀教育長

それでは、いくつか感想、要望、提言もありました。大学生とその母校の接点を持っていないのかと、それから竹田中学校への統合後の検証、それから竹田高校の志願者数の少なさ、魅力化等についてご意見をいただきました。

あと、質問については渡邊長男作品についてですが、各課から答えられるところがあればお願いします。まず、渡邊長男の件から歴史文化館長お願いします。

佐藤歴史文化館長

ありがとうございます。

渡邊長男の作品に関しましては、展覧会のように一堂に全部出すというのはなかなかできないんですが、エントランスに特別展示ケースを 1 つ置いて、その都度その都度、長男さんの作品を 1 点は見れるような状態を作りたいと考えております。市民の皆さんにも随時ご覧いただければと思っております。

あわせて、来年度の夏休みになりますが、由学館が開館して 5 周年になりますのでそれを記念した展覧会の一つとして、寄贈いただいたり、購入したりした作品を御覧いただくような由学館コレクションの展覧会を考えております。その中で、長男さんの作品だったり、瀧廉太郎の「憾」だったり、今回指定となっ

	た文化財の一部を見ていただけるようにしたいと考えております。これからもいろいろと市民の皆さんにご覧いただける機会を作りたいと思っております。よろしくお願いいたします。
志賀教育長	その他何かないでしょうか。 教育総務課長。
羽田野教育総務課長	貴重な意見をたくさんありがとうございました。 統合についての検証ですが、今のタイミングということで、本当にその通りだと思います。毎年と言っておきながらちょっとできていなくて、申し訳ありません。タブレットの回収が行われているかもしれないので、そこをちょっと確認して、何らかの方法を考えたいと思います。ありがとうございます。
志賀教育長	統合後も、統合で終わりではなくて、その後も意識調査をすとか、それから竹田中学校で生徒の意識アンケートなどをしていますので、そういったところから検証できるようにしたいと思っています。 久住中の保護者で統合前は猛反対されていた方がいます。ところが、お子さんのその後、「竹田中に通えるようになって大変喜んで、ものすごく感謝している」ということでした。その方から直接そういう言葉はいただけないですけども、そういった話も聞きますので、竹田中の様子についてはまとめていきたいというふうに思います。 あとは、学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。先ほどのアンケートの件は、保護者さんにはすぐ一冊を使って、まだ3月いっぱいぐらいだったら可能かなと思います。ちょっと生徒に対しても、うちの方の端末を使ってできないかどうかをちょっと探してみたいと思います。 それと、高校生ボランティアとか大学生が母校で、関わるといいなという話なんですけど、実際に、たけたん自學とか、竹田高校セミナーの際には、高校生がミニティーチャーみたいになって、中学校3年生の支援をしていただいたり、小学生に関わっていただいたりしています。 あわせて、竹田高校の方も各中学校にご案内いただいて、例えば部活動でちょっと練習を一緒にしたりだとか、吹奏楽部の人たちを呼んで、学校で演奏していただいたりとか、高校の方からも、高校生が出かけていくような手だてを作ってくださいしています。 それから大学生というところで、基本私立の大学に行かれた方は母校で教育実習されることが多いんだろうと思います。大分大学に行かれた方々が、大学の研究の一環だろうと思うんですが、秋の一時期にちょっと集団でお見えになって、何日かいらっしゃったりとか、私が竹田南部中にいたときはあったので、ちょっとすいません。改めて学校の方に確認をしてみて、そういった取り組みが続けられているようであればまた次回報告いたします。もし途切れているようであれば、どんな仕組みだったのかちょっと研究してみたいと思います。ありがとうございます。
志賀教育長	他にありますか。 吉野委員のご意見の中に、実習に行ってそして教員希望がしぼんでいったとありました。そういう方もおられたということは、よくある話かもしれないと思

います。実際に、教員になることが夢で、採用されて学校に行ってみると、自分が今まで思い描いていた理想と、学校の現実のギャップが大きくて、こんなはずじゃなかったと感じる若い先生がいます。そういう、若い教職員が、何とか強い気持ちで職務に励んで欲しいんです。自分は大分大学附属小学校と附属中学校に、行きました。実習はとっても楽しかったです。どの学校に行っても、実習を頑張っただけ欲しいというのはあります。

それから、ボランティアや大学生は、できれば交流したいという気持ちがありますので、学校教育課長が言いましたように、何かできることはないのか、探してみたいと思います。

それから、今月の26日に、竹田高校の未来を輝かせる会が予定されています。その時に竹田高校の魅力化とか、今後のことについて意見が出ると思います。また、確かに定員割れはショックが大きいんですけども、会をあげて考えていかねばというふうに思っています。

ただ、久住高原農業高校の学習成果発表会を見ると本当に素晴らしい研究成果があり、探求的な学びができていると思っています。竹田高校の発表会もありますけど、正直言って頑張っただけ欲しいなと思っています。そういった話ももしかしたら出るかもしれません。

その他、ご意見ないでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

それでは、議題第8号、「県費負担教職員の人事異動の内申について」の審議を非公開で行います。

関係者以外の退出をお願いいたします。

(非公開による議題第8号の審議)

(閉会)

[閉会時刻:午後4時15分]